

# 四国・水こぼれ話

Water Information Saloon Shikoku

## 談話室 Vol. 26

### 清流 仁淀川への想い

高知県 越知町長

よしおか

吉岡

うずまさ

珍正



私のまち越知町は、高知県中西部にあり、一般国道33号が町の中心を走っています。愛媛県境までは車でわずか35分です。昭和50年には人口9,546人でしたが、現在は6,952人となり、過疎化、少子化は中山間の他の町村同様、どんどん進んでいます。面積は111平方キロメートルであり、山と川に囲まれた美しい町です。

町に沿って一級河川「仁淀川」が流れており、清流が住民の心を和ませています。この川は全長124キロメートルあり、石鎚山を源に、面河渓谷や安居渓谷など多くの支流を持ち、流域の市町村に恵みを与え、太平洋に流れこみます。魚族も大変多く、鮎は特に有名で、夏には全国から釣師が集まってきます。又、年間を通じ、カヌーやキャンプで賑わいます。

しかし台風時には、越知町は仁淀川中流域の集水地であり、市街地の周辺は幅が数100メートルから広い所は2キロメートルにわたって一面の水浸しとなります。住民は、昭和20年の枕崎台風以後、この川の恐ろしさを知っています。農業は甚大な被害を受けます。昭和61年に完成した、四国地方整備局管轄の「大渡ダム」によって、近年の異常降雨によるピンチもギリギリのところでも乗り切れました。特に昨年の台風14

号ではダム所長をはじめ関係者のご努力により、市街地水没を免れたことに心より感謝を申し上げます。

ところで私の子供の頃は、この川の水量は今よりもっと多く、河原もきれいでした。夏休みには一日中泳いだり、魚をとって遊んだものです。大きな瀬があり、鮎や、今は少なくなりましたが、「ゴオシ(カジカの仲間)」をガッチャンで突いてとったものです。水に潜ると、川底の砂が太陽の光の影響でキラキラ輝いていました。その後、この川の上流に次々にダムができ、水量も大幅に少なくなりましたが、それでも昔のおもかげを残し瀬音をたてています。

町の西方には植物学者「牧野富太郎」の植物採集地として有名な「霊峰横倉山」がそびえています。この山は「安徳伝説」の山として、毎年多くの「伝説好き」の方々が登ります。頂上近くに全国で5つあると云われている宮内庁管轄の「安徳天皇陵墓参考地」があり、頑丈な石垣に周囲を守られた墓があります。又この山は樹齢400年とも云われている巨大な杉が立ち並んでいます。山中はうす暗く、深閑としていて、思わず霊を感じる不思議な山です。

こんな越知町が大好きです。住民と力を合わせ自然を守っていきたいと思います。



仁淀川より横倉山をのぞむ